



ひとり親家庭にエールを届ける

# YELLながさき通信

長崎県ひとり親家庭等自立促進センター

2021年3月

No.70

## 特集 【特集】人生100年時代の社会人基礎力

転職を考えておられる方や久しぶりに就活をされる方々から「この年齢で仕事はありますか?」「この年齢で資格を取るの遅くないですか?」などのご相談をお受けすることが多々あります。「就活=若者」という既成概念をおもちの方は多いのではないのでしょうか。

健康寿命が伸び、社会の急激な変化の中、今私たちの暮らしや仕事の在り方が大きく変わろうとしています。その流れを踏まえ、2016年に続き2018年経済産業省は、これまで以上に長くなる個人の企業・組織・社会との関りの中で、いつまでも活躍し続けるために必要とする力を「人生100年時代の社会人基礎力」と再定義しました。若年、中年、高齢と幅広い年齢の方が対象となる内容となっています。

そこで今回は、①「人生100年時代の社会人基礎力」が提示された背景と併せ②社会人基礎力に追加された3つの視点をご紹介します。

### ■「人生100年時代の社会人基礎力」が提示された背景

#### ◆人生100年時代の到来

平均寿命は、平成30年間に約5年伸び、さらに2040年(令和22)年にかけて約2歳延びると推計されています。2040年に65歳である男性の約4割が90歳まで、女性の2割が100歳まで生存するとみられています。海外の研究では、2007年(平成19年)に生まれた日本の子どもの半分が107歳より長く生きると推計されており、日本は健康寿命が世界一の長寿社会を迎えています。

※2040年(令和22年)頃は高齢者数がピークを迎える年

#### ◆急速な少子高齢化に伴う労働力不足

現在すでに人手不足などの問題が現れていますが、2040年には働く人は人口の半分になると推測されています。また人々の意識における「高齢者像」の変化に伴い、高齢期の就労についての考え方も変わりつつあります。

#### ◆技術革新による暮らし・仕事(企業も含め)の変化

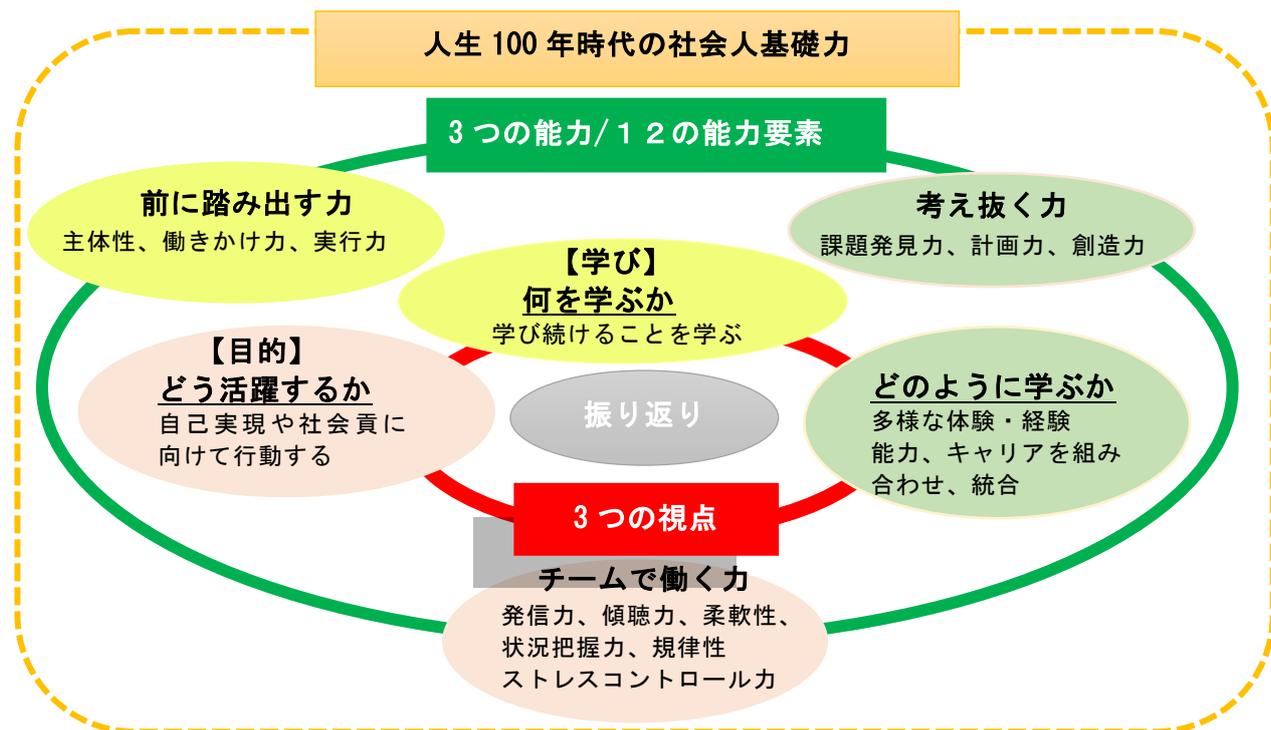
情報通信技術は、暮らし・仕事(企業も含め)両面に急激なスピードで大きな変化をもたらしています。企業にも人にも急速な対応が求められています。

- ✚ テレワーク、情報・オンライン化・
- ✚ AI(人工知能)・ロボット等の進展
- ✚ IoT(あらゆるものがネットにつながる)の進展
- ✚ 市場ニーズ(顧客の求めているものなど)の多様化
- ✚ 商品サイクル(商品が生まれ⇒衰退するまでの流れ)の短期化
- ✚ 企業の経営課題の変化(新しい価値の創出)等



(参照:「2020年度版厚生労働省白書」より)

■ 「3つの能力/12の能力要素」の内容に追加された「3つの視点」



資料：経済産業省ホームページをもとに作成

人生100年を元気に生きることが可能になれば、主体的に人生を楽しまなければ、100年気力が持ちません。これからは、従来の「①学ぶ」「②働く」「③引退する」という3つのステージから④、⑤と多くのステージを組み替えながら柔軟な働き方を模索することになるといわれています。スキル習得を例にあげても、一つのスキル、ごく一般的なスキルだけでは、人生の多彩な状況に対応出来なくなります。スキルに限らず社会人としての「学び直し」は必須です。自分としっかり向き合い、自分らしさを見つけること。そして年齢とともに変化する状況に応じて新しい事を学び、新しいスキルを身に付けていく必要があります。そのあらゆるステージで求められるのが下記の「3つの視点」です。

1. 【学び】何を学ぶか
2. 【統合】どのように学ぶか
3. 【目的】どう活躍するか

■まとめ

長い人生を見据え、常に「これから」という意識をもつことは大事です。  
仕事を変えること、職種を変えることは今や当たり前のことになっています。

YELLながさきでは、今年度も就労相談、就職に役立つ講習会・セミナー、無料法律相談等さまざまな「学びの場」を提供させていただき多くの方々との出会いを頂きました。  
新年度もこれまで同様どうぞよろしくお願い致します。



発行

長崎県ひとり親家庭等自立促進センター（YELLながさき）

〒852-8108 長崎市川口町 13-1 長崎西洋館 2 階 長崎県総合就業支援センター内

TEL 095-813-0800 FAX 095-848-1112 ホームページ <https://www.yell-nagasaki.jp>

運営主体：一般社団法人 ひとり親家庭福祉会ながさき